

2013年

美山木匠塾

みやま もくしょうじゅく

木匠塾は、建築を学ぶ学生が全国の林業地で
森や山、そしてその地域の生活に触れながら
木造構築物を製作する活動です。

美山木匠塾は、それらを支える産業について学びながら
丸太や製材された木材から製作する構築物を通して
茅葺の里として知られる美山において
物を創る事で、何が出来るのかを考えてゆきます。



■美山木匠塾とは

国土の7割を森林が占めている日本では、木を生活に活かし、森と折り合いをつけながら木製品が生産され、活用されていた技術が残っています。しかし、それらは衰退の一途をたどっています。木を活かす物づくりには、それが物になるまでの過程を知る事が大切です。日本の林業地がどのように木材を生産し、切り出された原木がどのように木材として流通するのか、それを意識してこそ、木材の活かし方を学ぶことができます。木匠塾は1991年に岐阜・高根村から始まり、岐阜・加子母村、秋田・角館町、奈良・川上村、京都・美山、山形・村山市五十沢・大石田、滋賀・多賀町、兵庫・六甲山へと広がりました。参加経験者は3000名を超えます。

1999年よりはじまった美山木匠塾は、茅葺の里として知られる京都・美山を舞台として、進められています。木造構築物を、学生自らの頭で考え、学生みんなの手で制作し、京都・美山へ設置します。物づくりがいかに町づくりに貢献していけるか、どういったコミュニティを生むのか、また、木がどのような産業に支えられ、活用され、そして消費されるのかを、木造構築物の制作を通して学んでゆく活動です。

2013年度冬季、美山木匠塾は2つのイベントを企画しています。

■美山木匠塾の「ミニモク」

木匠塾の活動は、サマースクールをメインとして、京都・美山町と京都府立大学を軸とした一年を通じた活動をおこないますが、木匠塾を気軽に体験できる「ミニモク」を開催します。ミニモクでは、公園に置かれる子供達のための小規模な木製遊具を制作します。遊具などの制作期間は2日程度となりますが、現地ヒアリング（1月上旬）、デザイン案検討会の後、現地プレゼンもおこなう予定です。美山木匠塾を体験してみたい！一年を通じた活動も参加したい！と興味をもたれた方は、下記申し込み先までご連絡ください。

設置場所：南丹市美山町大野地区「ちびっこ広場」

制作物：遊具など

制作場所：京都府立大学 木工室 ※デザイン案検討会も京都府立大学でおこなう予定です。

制作日数：2月下旬に2日程度（3月上旬に現地で引き渡しとなります）

参加資格：専門学校、高専、短大、大学、大学院で学ぶ学生

参加費用：1000円（ボランティア活動保険・雑費を含みますが、交通費は含みません。）

■「川下企業の見学会」

木材流通状況により生まれた言葉に「川上」と「川下」があります。川上は原材料、素材の製造段階、川下は製品販売の段階を示します。

木匠塾は、川上地域において、地産地消を前提とした木造構築物の制作をおこなってきました。しかし、それでは川上地域しか見ていません。

川上から川下全体を通じた木材の流通・活用・消費がどのように行われているのか実感する切っ掛けとなるよう、美山木匠塾では、川下の企業を見学する機会を設ける事にしました。12月においては、次の2社の川下企業の見学会をおこないます。

「日建スペースデザイン」は国内でも有数の空間デザイン事務所です。「内田洋行」は、家具からソフト・ハードウェア開発など多岐にわたる事業を融合させたユニットシステムまで手掛け、近年は木材活用分野への積極的な取り組みを行っています。

美山木匠塾主宰の見学会ですが、他地域の木匠塾経験者や、木に興味のある学生で、見学したいという方は下記申し込み先までご連絡ください。

・12月16日（月）14：00～

内田洋行（大阪）、日建スペースデザイン（大阪）※締め切りました

・12月26日（木）10：00～

内田洋行（大阪）※集合場所などは申し込み頂いてからお知らせします。

■申込み先

美山木匠塾 塾長・事務局長 羽原康成（はばらやすなり） 090-9887-0852 / habara@ah-a.jp

※氏名、大学名、学科名、学年、メールアドレス、見学会希望の方は当日連絡先（携帯番号）を明記し、申し込み先までメールください。

※「ミニモク」は12月末日までに申し込み頂けると、全行程に参加できます。

※「川下企業の見学会」は先着順、定員（10名）となり次第締め切ります。